

施策評価シート

記載年月	令和4年9月
対象年度	令和3年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	043	学習機会の提供と環境づくりの推進				
総合計画	基本目標	人とコミュニティをはぐくむ文化のまち（文化・学習）			主担当部課名	文化スポーツ部 文化生涯学習課
	基本施策	04	生涯にわたる学習活動の推進			
めざす姿	市民と行政、事業者が協働してつくりあげた学習の場や多様な学習機会を通じて、高齢者の社会参加や世代を超えた地域交流活動が行われ、「学び返し」により、地域教育力が向上しています。 また、ボランティア人材の発掘と育成を行うことで、学習した成果を活かしながら、市民自らが地域の課題解決に取り組むとともに、生涯学習の担い手として携わるなど、市民の活躍によるまちづくりが進められています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	323,333,000	292,453,000	275,516,000	443,981,000	354,850,000	456,823,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	1,651,000	1,534,000	1,360,000	1,493,000	1,224,000	1,539,000
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	14,200,000	0	157,000,000	72,000,000	153,000,000
一般財源	321,682,000	276,719,000	274,156,000	285,488,000	281,626,000	302,284,000
予算現額	323,648,000	327,214,000	300,586,000	481,737,000	376,397,000	0
決算額	320,757,526	322,644,517	292,144,324	447,922,744	343,039,003	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	1,448,000	1,356,000	1,016,000	236,000	895,000	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	3,200,000	0	88,000,000	0	0
一般財源	319,309,526	318,088,517	291,128,324	359,686,744	342,144,003	0
執行率	99.1	98.6	97.2	93.0	91.1	0.0
(人件費)						
職員数	4.67	5.08	5.08	5.36	5.42	0.00
職員人件費	35,847,579	39,889,024	40,802,331	41,478,553	42,044,533	0
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0	0	0	0
(間接経費)						
間接経費	1,278,909	1,127,443	1,236,936	931,689	1,195,128	0
総コスト	357,884,014	363,660,984	334,183,591	490,332,986	386,278,664	0

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
生涯学習講座への参加者数	64,808	実績	61,651	54,729	18,505	35,129	80,000
	人	達成率	77.1	68.4	23.1	43.9	
生涯学習センターの利用者満足度	94	実績	94	82	97	91	90
	%	達成率	104.4	91.1	107.8	101.1	
生涯学習サポーター登録者数	68	実績	84	85	71	73	100
	人	達成率	84.0	85.0	71.0	73.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

- ・講座への参加者数は、学習講座、スポーツ講座の数が指定管理者の運営に移行して以後も堅調に推移してきたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた年は大幅に受講者数が減少している。
- ・利用者満足度は、指定管理者が毎年度末に独自調査する利用者アンケート結果に基づく。4段階評価の上位2つ「満足している」、「やや満足している」とした人の割合を合算したもの。高い割合で推移している。
- ・生涯学習サポーター登録者数は基準値を上回っている。

4 施策の進ちよく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちよく状況	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	やや遅れているが、概ね順調	やや遅れているが、概ね順調
達成できている点	指定管理者の行うセミナーは、利用者の支持が得られ、受講者数は高水準を保っている。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館したことにより、受講者数が減少したが、指定管理者の行うセミナーは、利用者の支持が得られ、受講者数は高水準を保っている。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休講により、受講者数が大幅に減少している。指定管理者は利用者のニーズを捉えながら、質の高いセミナーを開催している。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、定員制限及び時間制限等の制約をしながらも、前年度と比較して利用者は大幅に増加した。
達成できていない点	生涯学習センターの中長期的な維持管理・修繕の計画が立っていない。	生涯学習センターの中長期的な維持管理・修繕の計画が立っていない。	生涯学習センターの中長期的な維持管理・修繕の計画が立っていない。	生涯学習センターの中長期的な維持管理・修繕の検討は始めたが、具体的な計画が立っていない。

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<p>生涯学習審議会は平成15年度にそれまでの社会教育委員の会議、公民館運営審議会、生涯学習推進協議会を統合して発足した。市の生涯学習施策について教育委員会に答申をし、施策の推進に貢献している。また、平成30年度に行った答申をもとに第3次府中市生涯学習推進計画を策定した。</p> <p>公民館事業は、文化生涯学習課と地域コミュニティ課で業務を分担しながら実施し、地域での学習機会の提供の役割を担っている。講座の講師に地元の知識経験者を採用するなど市民協働事業として、また学び返しの実践の場として成果を上げている。</p> <p>心身障害児・者余暇活動支援事業は、主に知的障害のある方を対象とした社会教育事業であり、社会教育・生涯学習の機会を提供するとともに、市民ボランティアが企画・運営を担うことで障害のない人がある人と交流を深める学習活動としても成果を挙げている。</p> <p>生涯学習機会創出事業は、生涯学習センターの管理運営と講座等の事業運営を通して市民に機会を提供しているものであり、平成25年度からの指定管理者制度移行で、サービス水準の向上と収支の改善を両立して実現している。</p> <p>青少年音楽祭は、市内で活動する青少年音楽団体を対象に参加を募り、2日間にわたり合奏の部及び合唱の部に分け、日頃の練習の成果を発表する事業である。令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。</p>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<p>国の方針として、社会教育部門が学校教育及び家庭教育を担う保護者等と連携・協働することを求めている。平成30年度に策定した第3次府中市生涯学習推進計画において明らかになった本市の生涯学習の現状や課題を踏まえ、実施する講座については参加しやすい開催日時の検討や、市民の関心が高いテーマを取り入れていく。</p> <p>青少年音楽祭は、毎年多くの青少年音楽団体が参加しており、ニーズの高い事業であるが、観覧者の多くが出演者の関係者であるため、関係者以外の観覧者を増やしていきたい。</p>
今後の展開
<p>生涯学習機会創出事業は、第3次府中市生涯学習推進計画及び生涯学習審議会の意見を踏まえ、地域人材の発掘や活用等を拡充するとともに「学び返し」の実践等を推進していく。</p> <p>地区公民館講座は、各文化センター担当者と各講座内容（受講者の反応や評判の良かったもの等）を共有し、今後の開催に向けて参考としてもらう。</p> <p>心身障害者余暇活動事業は、ボランティアスタッフの高齢化などにより、活動内容が限られてしまうため、関係者の意向を調査して人材を確保することで、活動内容の充実を図る。</p> <p>生涯学習センターでは、魅力ある講座が提供できるように、引き続き指定管理者との協議を緊密に行い、学習環境の提供に努める。また、老朽が進む生涯学習センターのあり方について、関係課と連携を図り、令和6年度に策定予定の文化・スポーツ施設配置等適正化計画（仮称）に盛り込んでいく。</p> <p>青少年音楽祭は、出演関係者以外の多くの方に観覧していただけるよう広報等を工夫していく。</p>

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
生涯学習機会創出事業	<p>▼生涯学習センターにおいて指定管理者が講座開催などを行うことにより、講座数の増加や内容の多様化を進める。</p> <p>▼民間事業者の持つノウハウを活かして、効果的な広報活動や学習活動の発表の支援を行うなど、市民サービスの向上及び経費削減を図る。</p>	<p>▼生涯学習センターにおいて指定管理者が講座開催などを行うことにより、講座数の増加や内容の多様化を進める。</p> <p>▼民間事業者の持つノウハウを活かして、効果的な広報活動や学習活動の発表の支援を行うなど、市民サービスの向上及び経費削減を図る。</p>	<p>▼生涯学習センターにおいて指定管理者が講座開催などを行うことにより、講座数の増加や内容の多様化を進める。</p> <p>▼民間事業者の持つノウハウを活かして、効果的な広報活動や学習活動の発表の支援を行うなど、市民サービスの向上及び経費削減を図る。</p>	<p>▼生涯学習センターにおいて指定管理者が講座開催などを行うことにより、講座数の増加や内容の多様化を進める。</p> <p>▼民間事業者の持つノウハウを活かして、効果的な広報活動や学習活動の発表の支援を行うなど、市民サービスの向上及び経費削減を図る。</p>
所管部署	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調
文化スポーツ部 文化生涯学習課	指定管理者はボランティア団体と連携し、多種多様な講座を企画している。オリンピックに関する講座や、有名講師による講堂講座などを実施したことは評価できる。	指定管理者はボランティア団体と連携し、多種多様な講座を企画している。オリンピックに関する講座や、有名講師による講堂講座などを実施したことは評価できる。	指定管理者はボランティア団体と連携し、多種多様な講座を企画しているが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で講座の実施がかなり制限された。	新型コロナウイルス感染症の影響により、生涯学習センターをはじめ、講座等の開催は制約されたが、オンライン実施などの努力もあり、参加や利用は前年度より回復した。
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	1,180,176			
所管部署	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
所管部署	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	R 3年度		R 4年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 生涯学習審議会運営事業	10		2,042,000	1,372,547	917,000	府中市における生涯学習の方向性などの検討。	B	1
2 公民館事業運営事業	20		3,367,000	2,074,049	3,202,000	社会教育法に基づき、实际生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行う。	B	1
3 心身障害児・者余暇学習支援事業	30		1,358,000	337,058	1,289,000	知的障害のある18歳以上及び特別支援学校等の生徒を対象に、社会教育の機会と場を提供する。	B	1
4 生涯学習機会創出事業	30		346,313,000	339,254,608	449,404,000	生涯学習センターの管理運営（講座等の運営含む）・生涯学習ボランティア等生涯学習振興の担い手	B	3
5 青少年音楽祭運営事業	30		1,770,000	741	2,011,000	青少年音楽祭の開催	B	1
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			354,850,000	343,039,003	456,823,000			

施策評価シート

記載年月	令和4年9月
対象年度	令和3年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	044	図書館サービスの充実				
総合計画	基本目標	人とコミュニティをはぐくむ文化のまち（文化・学習）			主担当部課名	文化スポーツ部 図書館
	基本施策	04	生涯にわたる学習活動の推進			
めざす姿	図書館で収集、整理、保存されている図書や視聴覚資料などの情報を活用して、知的・文化的な生活を営むとともに、レファレンスサービスを利用して、生活上の様々な課題の解決に取り組んでいます。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	763,175,000	770,205,000	791,707,000	814,476,000	804,663,000	1,114,261,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	2,050,000	0	0
市債	0	0	0	0	0	201,500,000
その他	1,507,000	5,622,000	13,076,000	15,681,000	9,669,000	4,015,000
一般財源	761,668,000	764,583,000	778,631,000	796,745,000	794,994,000	908,746,000
予算現額	763,427,000	773,518,000	791,707,000	806,249,000	804,557,000	0
決算額	761,187,200	772,079,698	787,212,108	788,548,507	794,854,198	0
国庫支出金	0	0	0	1,359,296	0	0
都支出金	0	0	0	1,470,000	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	1,442,375	5,519,716	12,944,987	15,114,613	9,120,682	0
一般財源	759,744,825	766,559,982	774,267,121	770,604,598	785,733,516	0
執行率	99.7	99.8	99.4	97.8	98.8	0.0
(人件費)						
職員数	22.00	22.00	22.00	22.00	22.00	0.00
職員人件費	168,995,728	172,747,740	176,703,010	170,247,792	170,660,468	0
月額制会計年度任用職員数	17.00	17.00	15.00	19.00	19.00	0.00
月額制会計年度任用職員人件費	53,046,800	52,951,617	46,363,845	60,122,783	61,345,680	0
(間接経費)						
間接経費	3,146,425	3,037,766	2,385,201	2,000,801	2,278,738	0
総コスト	986,376,153	1,000,816,821	1,012,664,164	1,020,919,883	1,029,139,084	0

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
市民1人当たり年間図書等貸出数	8.6	実績	8.1	7.5	5.8	7.3	10.2
	点	達成率	79.4	73.5	56.9	71.6	
図書館利用者登録者数	159,871	実績	151,479	147,640	141,511	137,959	165,500
	人	達成率	91.5	89.2	85.5	83.4	
レファレンス件数	4,284	実績	4,845	4,843	3,315	4,841	4,450
	件	達成率	108.9	108.8	74.5	108.8	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため緊急事態宣言期間は開館時間を短縮していたが、解除された令和4年10月25日以降は開館時間や座席もアクリル板を設置するなどの対策により通常の運用に戻したこともあり「市民1人当たり年間図書等貸出数」、「レファレンス件数」はコロナ前の数値に戻りつつあるが、「図書館利用者登録者数」は減少傾向である。

4 施策の進ちよく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちよく状況	やや遅れているが、概ね順調	やや遅れているが、概ね順調	やや遅れているが、概ね順調	やや遅れているが、概ね順調
達成できている点	インターネットによる予約割合が増えてきている。おはなし会の参加者数について、年度ごとの増減があるが、一定の数値で推移している。	3月以降新型コロナウイルス感染拡大防止のため館内への立ち入りが一部制限された中、レファレンス件数は前年とほぼ同数であり、基準値は上回っている。webの利用など含めてレファレンスの利用が定着している。	感染拡大防止対策のため4・5月は臨時休館とし、6月以降は段階的にサービスを再開したが、再開後も時間を短縮して運営したことから、入館者数は前年と比べて半減したが、資料の貸出数は約3割減に留まった。	10月まで感染症拡大防止対策のため開館時間の短縮などしていたが、市民1人あたりの貸出点数やレファレンス件数は例年の数値に近かった。
達成できていない点	貸出数、登録者数ともに減少傾向となっている。ラグビーワールドカップやオリンピック・パラリンピックに関する企画展の実施など、利用や貸出増に向けた事業を実施していく。	貸出数、登録者数ともに減少傾向となっている。国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを平成31年3月より新たに開始したことなど、今後新たな利用者と呼び、貸出数や登録者数に繋げたい。	感染拡大防止対策を講じながらの運営だったため、各国指標とも、前年度と比べ大きく減少した。今後は、図書消毒機の導入などより衛生的に図書環境を整えたり、貸出数や登録者数の増加に繋げるためYA世代など図書館の利用が少ない世代に向けた事業を実施していく。	登録者数は引き続き減少傾向にあるため、令和4年度に予定している電子図書館などの新たなサービス導入により、普段図書館に来館できなかった方など、新規利用者の登録により増加に繋げたい。

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<p>PFI方式により建設し、平成19年度に完成した中央図書館は、PFI事業者の一部管理運営を委託し市と分業している。PFI事業者の実施する事業（講習会、朗読会やビジネス支援講座等）とともに、市で実施する各講座、講演会のほか、テーマ展示等を行い、本に親しんでもらえる取組を継続して実施している。平成29年度に実施した図書館情報システム更新と同時期にホームページのリニューアルを図ることで、検索機能の充実とともにインターネット予約の利用を促進できた。同年8月からは、市政情報センターでの図書取次を開始した。</p> <p>また、第4期府中市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもの読書活動の総合的かつ計画的な推進を図るため、図書館の資料の充実、来館する児童・生徒への資料提供や調べ物の協力、学校との連携等により、読書の推進を図っている。</p> <p>平成30年度から現在のPFI事業終了後の次期運営手法の検討を開始し、平成31年度には、施設の劣化診断及び新たに図書館協議会を設置し市立図書館の今後の運営について答申を受けた。令和2年度は、複合施設のPFI事業者選定委員会を新たに設置し、実施方針の作成、特定事業の選定、入札公告の内容等について3回にわたり審議し次年度の事業者選定に向けた準備を進めた。また、第4期府中市子ども読書活動推進計画が中間年を迎えたことから、現状の把握と計画の後期3か年の読書活動を推進するための基礎資料とするため中間アンケートを実施した。令和3年度は7月に複合施設のPFI事業者選定委員会の審査を経て次期PFI事業者の選定を行い、令和4年1月に次期PFI事業者と事業契約の締結を行った。</p>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<p>スマートフォン等の普及により、ウェブでの予約の割合が増えるなど、インターネットからの利用が増えていることをふまえ、図書館情報システムと連動したホームページなどを利用して様々な方法で情報発信を行っていく。また、図書資料等のデジタル化も進んでおり、インターネット環境整備により資料の閲覧や活用が可能となる電子書籍やデジタルアーカイブなどの非来館型サービスの導入・促進が求められている。さらに、子どもの読書離れを解消することを目的に第4期府中市子ども読書活動推進計画に基づく後期3か年の事業実施により、引き続き子どもの読書活動を推進していく必要がある。</p>
今後の展開
<p>現PFI事業者と契約が令和4年9月末に満了することから、業務終了に向けた協議や施設の補修を進めるとともに、次期事業者とは各業務の調整を行い、新たな運営体制に向けた準備を進め令和4年10月からの次期事業者に円滑に事業を引き継ぎ令和5年3月に供用を開始し、令和19年までの15年間、市と事業者とで分業して事業を進めていく。</p> <p>令和4年10月から令和5年2月までの長期休館期間において、設備の改修等館内の利用環境の向上を図る。また、図書館情報システムの構築にあわせ令和5年3月より非来館型の電子図書館サービスを開始するとともに、本市のみが所蔵する貴重な地域資料のデジタル化も進め時間や場所の制限なく資料が閲覧できる環境整備を図る。</p> <p>第4期府中市子ども読書活動推進計画に基づく後期の取組を推進するとともに、保育所や学校等との連携等ふまえ、第5次府中市子ども読書活動推進計画の令和6年度策定に向けた準備を進める。</p>

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
中央図書館運営事業	▽市及び事業者の特集展示の実施 ▽市主催事業（「科学あそび」、講演会）の実施 ▽事業者主催事業（朗読会、講演会等）の実施 ▽次期運営手法の検討に向けた調査の実施	▽市及び事業者の特集展示の実施 ▽市主催事業（「科学あそび」、講演会）の実施 ▽事業者主催事業（朗読会、講演会等）の実施 ▽建物診断調査の実施 ▽次期運営手法の検討	▽市及び事業者の特集展示の実施 ▽市主催事業（「科学あそび」、講演会）の実施 ▽事業者主催事業（朗読会、講演会等）の実施 ▽次期運営手法の導入に向けた調査	▽市及び事業者の特集展示の実施 ▽市主催事業（「科学あそび」、講演会）の実施 ▽事業者主催事業（朗読会、講演会等）の実施 ▽次期運営手法の導入に向けた準備
所管部署	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている
文化スポーツ部 図書館	市及び事業者主催の事業については、予定どおり実施できた。入館者100万人を記念し、セレモニーを実施した。また、次期運営手法の検討に向けた調査を実施し、その結果から今後の取組等を検討した。	市及び事業者主催の事業については新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため2月以降の事業は休止とした。次期運営手法に向けた調査は劣化診断調査を実施し、図書館協議会の答申など総合的に検討し今後の図書館の運営方式について方向性を示した。	市及び事業者主催の事業については新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため休止や延期もあったが、参加者数を絞って実施した。次期運営手法に向けた調査は実施方針の作成や特定事業者の選定、また、事業者に向けて入札に必要な事項の公告及び説明会を実施した。	市及び事業者主催の事業については新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため休止や延期もあったが、参加者数を絞って概ね実施した。次期運営手法に向けた準備は次期事業者の選定及び事業契約の締結を行った。
事業種別	主要な事務事業	主要な事務事業	主要な事務事業	主要な事務事業
4か年事業費計(単位:千円)	37,240			
地区図書館運営事業	▽全館での資料の充実 ▽全館共通展示の実施 ▽各館独自での事業の実施 ▽YAコーナーのPR・利用促進 ▽学校との連携強化 ▽地域に根差した地区図書館を目指す ▽宮町図書館の新庁舎への移転についての検討	▽全館での資料の充実 ▽全館共通展示の実施 ▽各館独自での事業の実施 ▽YAコーナーのPR・利用促進 ▽学校との連携強化 ▽地域に根差した地区図書館を目指す ▽宮町図書館の新庁舎への移転についての検討	▽全館での資料の充実 ▽全館共通展示の実施 ▽各館独自での事業の実施 ▽YAコーナーのPR・利用促進 ▽学校との連携強化 ▽地域に根差した地区図書館を目指す ▽宮町図書館の新庁舎への移転についての検討	▽全館での資料の充実 ▽全館共通展示の実施 ▽各館独自での事業の実施 ▽YAコーナーのPR・利用促進 ▽学校との連携強化 ▽地域に根差した地区図書館を目指す ▽宮町図書館の新庁舎への移転についての検討
所管部署	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標以上に進んでいる	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている
文化スポーツ部 図書館	資料購入等を適切に行い、蔵書数は微増している。全館共通展示など、利用の推進を図った。宮町図書館の新庁舎への移転に関して、関係課と検討した。	資料購入等を適切に行い、蔵書数は微増している。全館共通展示や季節行事などの各館独自イベントの実施など利用の推進を図った。宮町図書館の新庁舎への移転に関して、関係課と検討した。	選書や資料購入等を適切に行い、蔵書数は微増している。感染拡大防止対策を講じながら、全館共通展示や季節行事などの各館独自イベントの実施など利用の推進を図った。宮町図書館の新庁舎への移転に関して、関係課と検討した。	選書や資料購入等を適切に行い、蔵書数は微増している。感染拡大防止対策を講じながら、全館共通展示や季節行事などの各館独自イベントの実施など利用の推進を図った。宮町図書館の新庁舎への移転に関して、関係課と検討した。
事業種別	主要な事務事業	主要な事務事業	主要な事務事業	主要な事務事業
4か年事業費計(単位:千円)	301,260			
レファレンスサービス事業	▽レファレンス講座の実施 ▽レファレンス研修の実施 ▽都立図書館研修への参加 ▽データベースのPR・利用促進 ▽OPACの検索案内 ▽国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの開始	▽レファレンス講座の実施 ▽レファレンス研修の実施 ▽都立図書館研修への参加 ▽データベース及び国立国会図書館デジタル化資料送信サービスのPR・利用促進 ▽OPACの検索案内	▽レファレンス講座の実施 ▽レファレンス研修の実施 ▽都立図書館研修への参加 ▽データベース及び国立国会図書館デジタル化資料送信サービスのPR・利用促進 ▽OPACの検索案内	▽レファレンス講座の実施 ▽レファレンス研修の実施 ▽都立図書館研修への参加 ▽データベース及び国立国会図書館デジタル化資料送信サービスのPR・利用促進 ▽OPACの検索案内
所管部署	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている
文化スポーツ部 図書館	利用者の多様なニーズに応えるため、職場内研修の実施に加えて都立図書館での研修にも参加し、職員のスキルアップに努めた。また、国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを開始した。	レファレンス講座は、幅広い年代の方に参加いただき好評を得た。利用者の多様なニーズに応えるため、職場内研修の実施に加えて都立図書館での研修にも参加し、職員のスキルアップに努めた。	レファレンス講座は、緊急事態宣言と時期が重なったため休止とした。利用者の多様なニーズに応えるため、職場内研修の実施に加えて都立図書館での研修にも参加し、研修内容を職場内で共有化し職員のスキルアップに努めた。	レファレンス講座は、感染拡大防止対策を施しながら人数を絞って実施したが、幅広い年代の方に参加いただき好評を得た。緊急事態宣言期間中など外部講師をオンラインで繋いで職場内研修を実施するなど職員のスキルアップに努めた。
事業種別	主要な事務事業	主要な事務事業	主要な事務事業	主要な事務事業
4か年事業費計(単位:千円)	2,988			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	R 3年度		R 4年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 中央図書館運営事業	30		16,548,000	15,021,024	25,196,000	利用者の読書の楽しみや学習意欲を促進・対応するサービス運営	B	1
2 中央図書館複合施設整備等事業	30		666,594,000	666,533,224	967,456,000	中央図書館の複合施設整備等事業費の債務負担行為解消分	B	1
3 図書館維持管理事業	30		36,697,000	31,620,476	32,241,000	図書館施設の清掃及び施設整備の保守、安全業務	B	1
4 地区図書館運営事業	30		82,022,000	79,088,439	86,229,000	利用者の読書の楽しみや学習意欲を促進・対応するサービス運営	B	1
5 レファレンスサービス事業	30		1,112,000	1,107,502	1,312,000	レファレンスサービスの充実と、きめ細かい読書相談の運営	B	1
6 児童・青少年サービス事業	30		610,000	518,073	593,000	子どもが本を楽しみ、読書する力を身に付けて、人生をより豊かに生きることを目的としての運営	B	1
7 ハンディキャップサービス事業	30		1,080,000	965,460	1,234,000	通常の図書館利用が困難な利用者に対するサービス運営	B	1
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			804,663,000	794,854,198	1,114,261,000			